

「地球温暖化をどう考えるべきか？」 2011 年 5 月 17 日

地球水循環研究センター・教授 安成哲三

(yasunari@hyarc.nagoya-u.ac.jp)

内容：

- 1 「地球温暖化」はすでに起こっているか？
- 2 近年の「地球温暖化」は、人間活動による温室効果ガス増加に因るものか？
- 3 IPCC(気候変動に関する政府間パネル) 2007 年レポート
http://www.ipcc.ch/publications_and_data/ar4/wg1/en/contents.html
- 4 温室効果ガスの増加で、地球の気候はどう変化する可能性があるか？
- 5 私たち人類は氷河時代に生きている－地球の長期的な気候変化－
- 6 水循環(雨や雪)は「地球温暖化」でどう変わるか？(変わりつつあるか？)

参考文献：

江守正多(2008) 地球温暖化の予測は「正しい」か？－不確かな未来に科学が挑む DOJIN 選書 20 (化学同人社) 1700 円

論文・解説：(下記の私の URL から pdf でダウンロード可能)

<http://mausam.hyarc.nagoya-u.ac.jp/~yasunari/index.html>

須藤健悟, 高田久美子, 竹村俊彦, 神沢博, 安成哲三, 2010: 植生改変・エアロゾル複合効

果がアジアの気候に及ぼす影響の評価, 低温科学, 68, 129-136 (査読付き科学論文 135)

安成哲三, 2010: 過去の気候変化から学ぶ「地球温暖化」の意味 変化する地球環境に対

峙する新たな知の創出, 地球環境学辞典、総合地球環境学研究所編, p 22.23 (著書.34)

安成哲三(2009): 私の意見「孫やひ孫が生きる時代の環境を考えよう」, 月刊なごや, No.325 (科学エッセイ 75)

安成哲三(2008): 「地球温暖化」と環日本海の気候・環境変化. 日本海学の新世紀 8 総集
編, 日本海・過去から未来へ(本海学推進機構編), p.308-318, (著書 31)

安成哲三(2008): 『地球温暖化』でアジアの雨と雪はどう変わるか?, 名古屋大学理学部・
大学院理学研究科広報誌[理ソフィア] No.15 (科学エッセイ 75)

安成哲三(2008): 「人間活動はアジアモンスーンを変えつつあるのか?」 科学, 78 (7),
740-741 (岩波書店) (査読なし学術論文 95)